

[大佛次郎記念館]
 平成 29 年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業を示します。
 ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

| | |
|---------|-----------------------------|
| 施設名 | 大佛次郎記念館 |
| 所在地 | 横浜市中区山手町 113 番地 港の見える丘公園内 |
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造 地上 2 階 地下 2 階建 |
| 敷地・延床面積 | 建築面積 593.13㎡ 延床面積 1,166.30㎡ |
| 開館日 | 昭和53年 5 月 1 日 |

2 指定管理者

| | |
|----------|--|
| 団体名 | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 |
| 所在地 | 横浜市中区山下町 2 番地 |
| 代表者 | 理事長 澄川 喜一 |
| 代表者設立年月日 | 平成 3 年 7 月 10 日 |
| 指定期間 | 平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 5 年間 |

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針の総括

公の施設の指定管理者として、関係法令、条例規則等を遵守し、市民及び設置者の信頼と期待に応えるよう運営を行いました。

29年度は、大佛次郎生誕120年(以下、「生誕120年」)に当たる年ということで、大佛次郎の人となりに光をあてた展示・講座の実施や、初めての試みとなる無料入館イベント「大佛次郎記念館のオープンデー」等を、多角的に実施しました。

また、28年度に整備した公衆Wi-Fiや、会議室テラスのウッドデッキなどの施設設備を活用し、お客様がより快適で安全な空間を楽しめるような施設運営を心がけました。

著作権継承者との固い信頼関係を基盤に、28年度と同様、作家と作品の調査・研究・普及はもとより、広く市民の読書活動や文芸の発展に寄与するとともに、地域の文化の拠点となることを目標にかかげ、指定管理期間3年目に繋げるべく取り組みました。

業務計画にある4つの方針に沿って、次の通り取り組みました。

- ① 生誕120年が中区制90周年と同年ということで、横浜市と連携し、中区役所、中央図書館との共催イベントを実施したほか、町内会を対象とした広報協力等が実現しました。また、中区内で主催

事業のミニ・ビブリオバトルの推進会場を提供してくれる小学校数が増え、読書活動の推進や文芸の発展に寄与しました。

- ② 地域町内会との交流が増え、チラシ回覧協力や町内会による会議室利用が実現しました。28年度と同様、文化・観光施設として近隣の山手西洋館、神奈川近代文学館や商店街等と連携しました。
- ③ 観光客等の記念館来訪を目的としない方もターゲットとし、「猫」関連の展示や入館無料デーの開催、建物の特長を活かした和室・会議室テラスの公開、撮影誘致を行い、地域のにぎわいと活気を創出しました。
- ④ オープンデータは、757点の追加情報掲載を達成し、大佛次郎の自著(昭和21年から33年)の情報が充実しました。

これらの取り組みを通して専門家、市民、観光来訪者等のさまざまな方々が利用し、集い、学び、楽しむことができる「新しい文学館像」を模索し、その実現に努めました。

(2)29年度の業務の方針及び達成目標の総括

指定管理制度導入後、2年目の今年度は、生誕120年という節目の年ということで、従来の展示に加えて新たな催しを多く開催し、記念年を盛り上げました。

テーマ展示Ⅰでは、1930年代のモダン都市「ヨコハマ」をキーワードに、大佛次郎のモダンなライフスタイルを紹介するとともに、個性や多様性を尊重する街の気質とそこに育まれた作家、大佛次郎の姿を紹介しました。市民が身近に感じられる実在の店舗や場所が多く紹介され、来場者の満足度の高い展示となりました。

テーマ展示Ⅱでは大の愛猫家としての大佛次郎を取り上げ、猫に関連した置物や浮世絵などの所蔵品を一挙公開する賑やかな展示となりました。会期に夏休み期間を含んだことで年齢を問わず多くの方にご来場いただき、テーマ展示開始以来最高の入場者数を記録しました。また他県の公立美術館における同展の同時開催も実現したことで、高い発信性を打ち出せたことも特筆すべき展示となりました。

テーマ展示Ⅲでは、初公開資料となる大佛次郎が戦後に書いた日記や、若者たちに向けて強いメッセージを届けた雑誌「学生」に注目した、大佛次郎の人となりを深く読み解く展示となりました。

事業や施設の管理運営共に、計画書に則り執行いたしました。29年度の初の試みとして、入館無料の「オープンデー」や「大佛次郎の120回目の誕生日」は、これまで記念館になじみのなかった多くの方々が足を運び、当館の魅力を知っていただく機会となりました。新規事業の大佛次郎生誕120年記念講演会では、神奈川近代文学館との連携により、6月と10月の2回の開催が実現しました。毎年3月に開催する大佛次郎賞受賞記念講演会は、講師都合により4月と3月の2回の開催となり、事業全体で量と質を共に充実させることができました。

目標来館者数は、昨年度実績をさらに大きく上回りました。指定管理期間2年目は、大佛次郎記念館にとって飛躍の年であったと言っても過言ではありません。

今年度は、研究室アルバイト1名の常勤化と、事務室・研究室・受付スタッフが一丸となって、一人ひとりが業務効率化やコスト意識をもって業務遂行に当たったことで、業務やサービスの質を下げることなく、円滑な運営が実現しました。

広報分野では、計画目標達成はもちろんのこと、28年度に開設したtwitterや、音声ガイドなど新たな媒体を活用し情報の拡散を多く試みました。29年度のホームページのサイトアクセス件数は、

前年度の2倍以上に飛躍的に伸びており、このことから、広報の波及効果が数値結果として表れた結果となりました。

29年度の事業及び施設運営が円滑に運営できた要因として、所管の横浜市文化観光局の尽力により28年度から築いてきた地域連携が実り、実質的な協力を得られたことが挙げられます。

4 事業の取組についての達成状況

(1) 文化事業について

ア 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容と達成状況] |
|--|--|---|
| <p>① 資料収集 大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。</p> | <p>■新収資料については、市民の財産として積極的に情報発信し、公開します。 目標：おさらぎ選書「資料収集」欄への掲載</p> | <p>■28年度受贈資料、購入資料については、「おさらぎ選書」第25集「資料収集」欄に掲載しました。 ■購入資料6点のうち3点は常設展で「特集展示コーナー」を特設し、展示・公開しました。</p> |
| <p>② 資料保存 所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。 専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。</p> | <p>■貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。 ■温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行います。</p> | <p>■多様な種類と形態をもつ資料の特性に留意しつつ、展示期間中の展示替えやレプリカの利用により状態の維持に努めました。 ■病虫害対策の一環として、総合的有害生物管理(I PM)の観点から、12月に職員による2階書庫内の大規模清掃を行ったほか、専門家による環境保全実施の必要があることから、30年度館内害虫生息調査、防塵防黴業務の契約の見直しを図りました。温湿度管理や保存方法については達成指標通りに実施しました。</p> |
| <p>③展示公開 ・常設展(収蔵品展)</p> | <p>□「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収蔵品展を展示室で実施します。 目標：定期的な展示替え実施</p> | <p>□収蔵品展示 「大佛次郎-人と作品-」と題し展示を行いました。生涯をたどる構成に加え、「横浜フランス月間2017」にあわせ、大佛の1961年のフランス滞在にまつわる新収資料を展示したほか、「横浜」、「猫」、「天皇の世紀」等、テーマ展にあわせ6月、7月、2月、3月にコーナーごとの展示替えを実施しました。また、11月に資料保存のための展示替えを行いました。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>・愛蔵品展示コーナー</p> <p>・ 1階ロビー展示</p> <p>③ 展示以外の資料公開</p> <p>・ 閲覧室での図書の閲覧</p> <p>・ 「おさらぎ選書」に目録を掲載。</p> <p>・ 収蔵資料目録のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。</p> <p>・ 研究目的に沿った的確なレファレンスサービスを提供します。</p> | <p>□大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を愛蔵品展として記念室前展示コーナーで展示します。</p> <p>目標：年1回の展示替えの実施</p> <p>■データカテゴリーを追加します。</p> <p>□ホームページ上で新規に公表するデータ数：700件以上</p> <p>□レファレンスサービス件数：年間40回以上</p> | <p>□愛蔵品展示コーナー</p> <p>年1回の展示替え（4月）実施</p> <p>大佛夫妻が愛用した茶碗、菓子鉢、茶杓等の茶道具7点を展示し、彫刻家の朝倉文夫や陶芸家の小山富士夫といった人々との交友関係を紹介しました。</p> <p>□1階ロビー展示</p> <p>海外からの観光客や地域のインターナショナルスクール関係者等の来館を鑑み、日本語のキャプションに英語表記を加え、多言語対応を行いました。（5月実施）</p> <p>■28年度に引き続き、閲覧室では図書閲覧を行いました。</p> <p>■6月発行の「おさらぎ選書」第25集で目録を掲載しました。</p> <p>■データカテゴリー(自著：昭和21年から33年分)を追加しました。</p> <p>□昭和21年から33年刊行の大佛次郎の自著についてデータ整理を進め、新規に757件のデータをホームページ上に公表しました。</p> <p>□年間レファレンス件数：62件</p> <p>海外からの来館者を含め、学界など幅広い層からの照会に答え、情報の発信に努めました。</p> |
|--|--|--|

イ 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

| | | |
|---|---|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。</p> | <p>[達成指標]</p> <p>□テーマ展示の実施：3回</p> <p>□観覧者目標 15,980人 (25年度実績 13,590人 26年度実績 14,732人 27年度実績 14,904人 28年度実績 20,563人)</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□テーマ展示の実施：3回</p> <p>□テーマ展示Ⅰ～Ⅲ展示観覧者数：22,771人(昨年度比2,208名増) 1日あたりの入場者 平均75.9名</p> |
|---|---|--|

| | | |
|---|--|---|
| <p>①テーマ展示</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示 I 「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大佛次郎のライフスタイル(音楽・舞台芸術・絵画・写真への愛好、グルメ等)に焦点を当てることで、その生活美学や人物としての魅力を紹介します。 ・作品の舞台、また自らの生活の場でもあった「ヨコハマ」との関係性を紹介し、大佛が「ハマ」に寄せる愛情の具体像にせまります。 ・ターゲット：大佛作品を読んだことのない世代、1930 年代昭和モダン・カルチャーの愛好家 ・期間：3 月 16 日(木)～7 月 9 日(日) | <p>□観覧者目標数：5,400 人</p> <p>■中区制 90 周年、ホテルニューグランド 90 周年との連携</p> <p>■フランス月間とリンク</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年記念講演会の実施：6 月 18 日(日)、講師：鹿島茂(フランス文学)</p> | <p>■大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示 I 「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」 会期 3 月 16 日(木)～7 月 9 日(日)</p> <p>□観覧者数：8,015 人</p> <p>大佛次郎が愛した「ヨコハマ」の魅力を切り口に、1930 年代のモダンなライフスタイルや戦時色が濃くなった戦中期の作品に投影された反骨精神など、大佛次郎の生き方や作品の特質を約 90 点の資料を通じ紹介しました。</p> <p>■90 周年を迎えたホテルニューグランドをはじめ、横浜ゆかりの企業にご協力いただき、当時の雰囲気の一部を借用資料によって再現することができました。なじみのあるブランド名と大佛次郎が重なることで来館者の認知度が高まり、親しみを感じてもらうことができました。</p> <p>■中区との連携の結果、町内会を通じたチラシ配布等の広報協力が実現しました。緑化フェア開催時期と重なったことも奏功し、来館者数は目標を大きく上回りました。</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年記念講演会 I 6 月 18 日(日)実施、来場者数 223 名 神奈川近代文学館と共催し、生誕 120 年記念講演会 I を実施しました。横浜フランス月間 2017 ともリンクし、来場者数は 223 名と定員を上回りました。現代のフランス社会との関わりも論じられ、活発な質疑応答が行われるなど満足度の高い講演会となりました。</p> <p>■関連事業として、30 年 1 月 10 日(水)～2 月 12 日(月・祝)に横浜市中央図書館 1 階展示コーナーにて、本展示を再構成した内容で出張展示を行いました。1 月 27 日には同図書館ライブラリースクールにて当館研究員が講演を行いました(参加者 36 名)。双方の事業はともに大佛次郎</p> |
|---|--|---|

| | | |
|---|---|--|
| <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示Ⅱ 「大佛次郎と 501 匹の猫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯 500 匹以上の猫を飼うなど、大佛次郎の作品や人生を語る上で欠かせない猫=「優しい伴侶」に焦点をあてます。 ・ターゲット：夏休みのファミリー来館者、観光客、猫好き等 ・期間：7月 13 日(木)～11月 12 日(日) | <p>□観覧者目標数：5,400 人</p> <p>■「猫」を通じ幅広い層への認知度アップをはかる。大佛の猫にむける「まなざし」を通して「大佛らしさ」を体感してもらう。</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年記念講演会の実施：10 月 9 日(月・祝)、講師：辻原登(作家、神奈川近代文学館館長)</p> | <p>を紹介する良い機会となりました。</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示Ⅱ 「大佛次郎と 501 匹の猫」 会期 7 月 13 日(木)～11 月 12 日(日)</p> <p>□観覧者数：10,617 人</p> <p>■「愛猫家」大佛次郎にスポットをあてた展示。「私の家に住んだ猫の数は五百匹に余る。」などの大佛次郎が残した文章を基軸に、大佛家の猫の写真や収集した猫に関連した品々のコレクション、大佛次郎執筆の童話『スイッチョねこ』の挿絵原画、猫の浮世絵、木村荘八をはじめとする猫をめぐる人間関係など、猫にまつわる収蔵品を網羅的に紹介しました。猫に関する大佛の文章やエピソードは大佛次郎の《人となり》を考えるには共感しやすかったこと、また会期が季節にも恵まれたこと等があり、観覧者が目標を大きく上回りました。</p> <p>また、前年度発行の書籍『大佛次郎と猫』(小学館発行)を展覧会公式カタログとして活用し、販売しました。</p> <p>本展覧会をきっかけとして、那珂川町馬頭広重美術館での展覧会「大佛次郎と 501 匹の猫」の同時開催をはじめ、他県での猫コレクション展への収蔵品貸出の協力や、収蔵品の画像提供の機会が増加しており、記念館の知名度アップに貢献しました。</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年記念講演会Ⅱ 10 月 9 日(月・祝)開催 中区制 90 周年連携事業として、神奈川近代文学館と共催で、同館館長を講師に迎え開催しました。大佛次郎のライフワーク「天皇の世紀」を題材に作家としての大佛次郎について論じられました。アンケート結果からは「大佛作品を読みたくなった」との声が数多く聞かれるなど、</p> |
|---|---|--|

| | | |
|--|---|--|
| <p>●大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示Ⅲ 「大佛次郎の戦後ニッポン—未来を信じるチカラ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 主筆をつとめた若者にむけた雑誌「学生」「天馬」を軸に、人々との交流や大佛の活動を紹介します。(ex. 東久邇内閣の内閣参与～ナショナルトラスト運動、「フランス山」や宅地開発についての横浜市への提言まで) ターゲット：日本文学愛好者、歴史好き他 期間：11月16日(木)～30年3月11日(日) | <p>■大佛次郎 120 歳誕生日の実施 無料入館デーとし、来館者の皆さんで誕生日をお祝いする。</p> <p>■中区制 90 周年との連携</p> <p>■小学館発行の「大佛次郎と猫」を展覧会で活用する。</p> <p>□観覧目標数：5,180 人</p> <p>■「おさらぎ選書」第 25 集の資料紹介と連動した展示内容とする</p> | <p>意義深い講演会となりました。</p> <p>■大佛次郎 120 歳誕生日 10/9 オープンデー開催</p> <p>■中区制 90 周年と連携</p> <p>■テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と 501 匹のねこ」で小学館発行「大佛次郎と猫」を公式ガイドブックとして備え置きし販売</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年記念 テーマ展示Ⅲ 「大佛次郎の戦後ニッポン—未来を信じるチカラ」 会期 11 月 16 日(木)～30 年 3 月 11 日(日)</p> <p>□観覧者数：4,139 人(未達)</p> <p>■本邦初公開となる昭和 21 年から 23 年にかけて大佛が書いた 7 冊の日記をはじめ、大佛が主筆をつとめた雑誌「学生」(「おさらぎ選書」第 25 集の内容と連動)など、100 点余りの資料を展示し、戦後の復興にかける大佛次郎の思いを紹介しました。展示内容を新聞 2 紙が取り上げ、ケーブルテレビ番組でも紹介されるなど、マスメディアからの反響がありました。大佛の日記に関する書籍の刊行という今後の目標に向け、日記の内容を広く紹介する機会となりました。</p> <p>■関連イベントがなかったことや厳冬という季節的条件も重なり、目標観覧者数に届きませんでした。</p> <p>■雑誌「学生」に毎号連載された大佛のエッセイ「鎌倉通信」から、「大佛次郎の美文」と題して 140 字を抜き出し、展示期間中に 47 回 Twitter で発信しました。Twitter は少しずつではありますが着実にフォロワー数が増えており、大佛次郎の文章を身近なものとし、若い世代等の新たな来館者層を開拓する上での有意義</p> |
|--|---|--|

| | | |
|---|--|---|
| <p>②おさらぎ選書の発行</p> <p>●「おさらぎ選書」第25集を発行します。また、30年度の第26集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。</p> <p>② 情報の集積と発信 一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリースするとともに、公式サイトの実践や、ブログやSNSを用いたタイムリーな発信を行います。 公園内の話題(花の話題等)や山手西洋館の行事にも積極的に言及します。</p> | <p>■「おさらぎ選書」第25集では、「大佛次郎生誕120年」と題し、論文「大佛次郎主筆『学生』を読む(仮)」「大佛次郎と神奈川新聞社」、及び『学生』の書誌情報等を掲載します。発行予定年月：29年6～9月中</p> <p>■新収蔵、初公開等の情報を発信します。</p> <p>■SNSを使った積極的な発信を行います。</p> <p>□Twitter、Facebookでの発信：各月5回</p> <p>□ブログ更新回数：月5回</p> | <p>な試みとなりました。</p> <p>■アプリ開発の代替として、QRコードを読み取ると展示内容の音声ガイドを掲載したYouTubeのリンクにつながる仕組みを、初めての試みとして、テーマ展示Ⅲの中で試行しました。</p> <p>■随筆「鎌倉通信」から六篇を選び、大佛次郎のメッセージを紹介するミニ本「鎌倉通信—若い人達に—」を新たに作成し、販売を開始しました</p> <p>■「大佛次郎生誕120年」と題し、論文「『若い人達』に—雑誌『学生』と大佛次郎の戦後」、「幻の「地誌『横浜の世紀』を追って」、「大佛次郎と音楽」を掲載し、大佛次郎の多彩な魅力に迫りました。また、大佛次郎が主筆した雑誌「学生」の書誌情報の索引を作成し、掲載しました。(6月発行)</p> <p>■初公開情報は、テーマ展示Ⅲの際に記者発表とwebにより発信いたしました。</p> <p>■テーマ展示Ⅲでは大佛次郎の名文を選出し、Twitterで発信しました。</p> <p>□Twitterは、ほぼ毎月5回以上の更新を行いました。(年間163回、月平均13.6回)</p> <p>□Facebookは、月5回以上の更新を行いました。(年間77回、月平均6.4回)</p> <p>□ブログは、月5回以上の更新を行いました。(年間77回、月平均6.4回)</p> <p>□メールマガジンは、年4回発行し、登録者数は70件です。</p> <p>上記の結果、29年度のホームページのサイトアクセス件数が前年度の2倍以上の139万件と飛躍的に伸び、積極的な情報の発信を行いました。</p> |
|---|--|---|

ウ 各種文化的行事の実施

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容と達成状況] |
|---|---|---|
| <p>① 各種文化的行事の実施</p> <p>各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年記念「大佛次郎生誕 120 年記念講演会」の実施 (2 回)</p> | <p>■ 6 月 18 日(日)、講師：鹿島茂(フランス文学)</p> <p>■ フランス月間とのリンク (6 月)</p> <p>□ 入場者目標数 170 人</p> <p>■ 10 月 9 日(月・祝)、講師：辻原登(作家、神奈川近代文学館館長)</p> <p>■ 神奈川近代文学館と共催実施</p> <p>■ 中区制 90 周年連携事業</p> <p>□ 入場者目標数 170 人</p> | <p>■ 大佛次郎生誕 120 年記念</p> <p>「大佛次郎生誕 120 年記念講演会」 I</p> <p>6 月 18 日(日)、講師：鹿島茂(フランス文学者)</p> <p>県立神奈川近代文学館と共催し、生誕 120 年記念講演会 I を実施しました。「横浜フランス月間 2017」ともリンクし、定員を上回る来場者を得ました。テーマを「フランス第三共和政と大佛次郎」とし民主主義の根幹についても論じられ、来場者からの活発な質疑応答が行われるなど、満足度の高い講演会となりました。(再掲)</p> <p>□ 入場者数 223 名</p> <p>■ 大佛次郎生誕 120 年記念</p> <p>「大佛次郎生誕 120 年記念講演会」 II</p> <p>10 月 9 日(月・祝)、講師：辻原登(作家、神奈川近代文学館館長)</p> <p>中区制 90 周年連携事業として、神奈川近代文学館と共催で、同館館長を講師に迎え開催しました。大佛次郎のライフワーク「天皇の世紀」を題材に作家としての大佛次郎が論じられ、アンケート結果からは「大佛の作品を読みたくなった」との声が数多く聞かれるなど意義深い講演会となりました。(再掲)</p> <p>□ 入場者数 159 名(未達)</p> |
| <p>●大佛次郎生誕 120 年記念「横浜文学散歩」～中区編～</p> | <p>□ 横浜文学散歩を年 1 回開催します。大佛次郎生誕 120 年記念で、生誕の地を</p> | <p>□ 講師都合により実施を見合わせました。その後、講師と検討の結果、開催中止とし、応募者全員に中止の連絡をしました。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>5月26日(金)開催予定</p> | <p>はじめ、中区を重点的に回遊します。</p> <p>目標：参加者20人</p> <p>■中区制90周年連携事業</p> | <p>(未達)</p> |
| <p>●大佛次郎生誕120年記念「大佛次郎賞受賞記念講演会」(今年度は特別に2回開催)</p> | <p>■4月13日(木)講師：浅田次郎(受賞作『帰郷』) 大佛次郎生誕120年記念「大佛次郎賞受賞記念講演</p> <p>■朝日新聞社との共同主催。毎年1回の開催だが、昨年度分は日程調整の都合上、29年4月13日(木)に開催、29年度分は30年3月に開催。</p> <p>□参加者数 240人</p> | <p>■4月13日(木)講師：浅田次郎</p> <p>講演者都合で4月の開催となりました。当日の混乱を避けるため、従来の運用を変更して往復はがきによる事前申込制を導入しました。参加者数はほぼ満席でしたが、混乱もなくスムーズな開催ができました。</p> |
| <p>○大佛次郎研究会公開発表会</p> | <p>■4月開催分のみ中区役所との共催となり、中区制90周年事業の位置づけとなります。</p> <p>■横浜市開港記念会館講堂での開催</p> <p>■3月17日(土)講師：高村薫(受賞作『土の記』)</p> <p>□参加者数 240人</p> <p>■大佛次郎研究会に対し、会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図るとともに、年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。</p> | <p>□参加者数409人</p> <p>■中区制90周年事業として開催し、大佛次郎ゆかりの中区の商店等について掲載した「大佛次郎と中区の素敵な関係」リーフレットを作成して来場者に配布しました。</p> <p>■共催につき施設利用料金50%減免</p> <p>■3月17日(土) 講演：高村薫</p> <p>往復はがきによる事前申込制を実施し、混乱なく運営ができました。講演者によるサイン会もあり、参加者のアンケート結果をみても満足度の高い講演会となりました。</p> <p>□参加者数：428名</p> <p>■29年5月13日(土)と11月25日(土)に公開研究発表会を共催し、記念館会議室の優先予約や広報物の作成協力などを通じ、活動を支援しました。</p> <p>□参加者数：春(5月13日)73名、秋(11月25日)74名</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>②施設及び山手エリアの活性化</p> <p>●和室公開 春の桜、晩秋の紅葉の時期に和室を公開し、来館者に窓から眺める景色を楽しんでいただくと同時に、大佛の作った俳句等を展示し、啓発に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春3月24日(金)-4月9日(日)(15日間) ・秋11月24日(金)-12月10日(日)(17日間) <p>○大佛茶亭公開 鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春4月8日(土) ・秋10月14日(土) <p>③子ども対象事業を実施します。</p> <p>●小学生ミニ・ビブリオバトル 本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、昨年度に引き続き第5回ミニ・ビブリオバトルを実施します。</p> | <p>□目標来場者数 春・秋各400人</p> <p>■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。</p> <p>■テーマ展示毎に茶亭の展示コーナーを展示替えます。</p> <p>■中区との連携事業として年1回開催市と要協議。</p> | <p>■和室公開 春3月24日(金)-4月9日(日)(15日間) 秋11月24日(金)-12月10日(日)(17日間) それぞれの季節にちなんだ大佛次郎の俳句を展示しました。(春季6点、秋季5点)</p> <p>□来場者数(期間中来館者数) 春：1,246名、秋：989名</p> <p>■書籍、グッズ販売と収蔵品のミニ展示を通して記念館のPRを行いました。</p> <p>□来場者数 春：537名、秋：362名</p> <p>■テーマ展示にあわせ、茶亭展示コーナーの展示替えを年3回実施しました。</p> <p>■第5回ミニ・ビブリオバトル 開催日：11月25日(土) ビブリオバトルのデモンストレーションを中心に行う学校訪問を積極的行いました。ミニ・ビブリオバトル本番には中区を中心とした市内小学校に在学する小学生8名の参加があり、見学者も含めると計36名の参加となりました。</p> <p>■29年度は単年度限定で中区と共催し、優勝者には中区提供のチャンピオンカップが中図書館長より授与されました。</p> |
|--|--|--|

| | | |
|---|--|--|
| <p>○夏休み子どもアドベンチャー</p> <p>市教委主催の夏休み子どもアドベンチャーに参加し、子どもたち及び保護者の入館を促進します。(ねこをみつけよう、よみきかせ、ねこを書こう)</p> | <p>■ 8月17日(木)、18(金)</p> <p>□参加者目標:40人(保護者含む)</p> | <p>■夏休み子どもアドベンチャー</p> <p>会期:8月17日(木)、18日(金)</p> <p>従来の自由参加制を変更し、29年度から事前申込制にしたことで、参加希望者数が80件計96名にも増加しました。</p> <p>当日は絵本「スイッチョねこ」を2名の朗読者がかけ合いで子どもたちに読み聞かせ、その感想画を描いてもらいました。2日間で感想画体験の参加者が40名、付添等を含めると計52名の参加がありました。また、完成した感想画を夏休み期間中に館内サロンに展示し、子どもたちの家族や関係者の再来館につなげました。</p> |
| <p>●感想画展、館内クイズラリーなど、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画を実施します。</p> | <p>■年1回実施</p> <p>夏休み実施予定</p> | <p>■夏休み子どもアドベンチャー(再掲)</p> <p>会期:8月17日(木)、18日(金)</p> |
| <p>○神奈川県博物館協会主催のミュージアム・ミッション2017に参加し、来館者増を図ります。</p> | <p>□参加者目標:300人</p> | <p>□ミュージアム・ミッション2017</p> <p>会期:7月22日(土)～8月31日(木)</p> <p>当館受付での参加を呼びかける積極的な紹介により、期間中の参加者数は累計414名となりました。</p> |
| <p>④観光客や新規来館者を呼びこむ企画</p> <p>○「大佛次郎×ねこ写真展2018」企画の実施</p> <p>2月開催予定</p> <p>大佛次郎の愛した猫を切り口に、新たな来館者層を開拓します。</p> | <p>■昨年度に続いて2回目の実施。会議室での展示事業として年1回実施</p> <p>□入館者目標:3,000名</p> | <p>■大佛次郎×ねこ写真展2018</p> <p>会期:2月20日(火)～4月8日(日)</p> <p>□来館者数:2,764人(3月31日まで。会期最終来館者数3,597人)</p> <p>■昨年度と同様に、会議室では大佛次郎の文章と猫の写真のコラボレーションコーナーや大佛次郎の飼ったシャム猫の写真、猫を撮影した公募写真を展示しました。また、新たに2階サロンに猫ポップを設置し、大佛次郎と猫たちの姿を再現し、一緒に写真が撮影できるフォトスポ</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>ットとしました。</p> <p>公募写真展は、応募可能点数を1名につき3枚までに制限したことから、応募作品数は555点と昨年度より少ないものの、応募者は昨年度より50名以上多い210名となりました。</p> <p>和室では施設利用のない日にねこポップを展示し、会場の一体感を演出しました。</p> |
|--|--|---|

エ 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

| | | |
|--|---|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>① 記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。</p> <p>●学校茶道部の利用促進を行います。</p> <p>●大佛次郎生誕120年記念「大佛次郎記念館のオープンデー」教育機関など地域と連携し、オープンウスを実施します。9月2日(土)入場料無料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和英二か国語でのギャラリートーク(展示・建物・活動紹介) ・和室での市内中学高等学校茶道部生徒さんによる茶道体験 ・「着物バスのドレス」 | <p>[達成指標]</p> <p>■キャンペーンによる誘致を実施します。</p> <p>□キャンペーン利用件数：年2件</p> <p>■オープンデーの実施によって、地域連携、バイリンガル化を進めます。</p> <p>■多文化共生の拠点としての可能性の探究</p> <p>■中区制90周年連携事業</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■入館無料デーのイベントや和室公開の時期のねこ写真展をきっかけとして会議室テラスを公開し、知られていなかったテラスの魅力を来館者に伝えました。</p> <p>■26年度から3箇年の実施状況を鑑み、学校に限定せず、またキャンペーンではない誘致の方法を検討中です。</p> <p>■茶室紹介サイト「茶会データベース」登録</p> <p>■キャンペーンに代わり、茶室を探す方向けの茶室紹介サイト「茶会データベース」への登録を行いました。</p> <p>■大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念大佛次郎記念館のオープンデー 9月2日(土)、来館者数：1,110名</p> <p>■中区制90周年連携事業として実施しました。</p> <p>■当日は予想を上回る入場者数となりました。職員間で館内の情報共有を行い各担当が役割を的確に担ったので、安全にイベントを実施できました。</p> <p>■初の試みとして当館周辺エリアに地域指定郵便による案内状の配布を行いました。その他、シティリビングやタウンニュース等の多くの情報誌への掲載が実現し、周知に寄与しました。</p> |
|--|---|---|

| | | |
|---|--|--|
| <p>(鹿鳴館風ドレス)の展示(2階サロン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティールーム「霧笛」による大佛夫人のレシピを用いたチーズケーキの提供、等 | | <ul style="list-style-type: none"> ■版画刷り体験や茶道体験、和英二か国語でのギャラリートーク、着物バスルドレスの展示と着付けデモンストレーション、ティールーム霧笛でのチーズケーキとドリンクのミニセットでの提供など、子どもから大人まで楽しめるプログラムを、近隣の学校や各種団体に協力を仰ぎ連携することにより実現しました。 |
| <p>② 会議室、和室の利用促進</p> <p>建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。</p> | <p>□ドレス撮影会等、商業撮影の誘致：年5回以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘致を推進します。 ■撮影等、特徴ある利用実績を記録し、アピールに使用します。 ■主催または共催で、会議室の連続利用につながる展示事業を開催します。 | <p>□ドレス撮影会と写真仲間での撮影会など、合計19回の実績となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■撮影誘致は引き続き継続しつつ、新たな方法として、港の見える丘公園を訪れるウェディング撮影業者に向けたチラシ配布などのアピール活動の準備を行いました。 ■特徴ある利用実績としてバスルドレスでの撮影体験の情報をTwitterで発信しました。 ■共催事業の「ユースギャラリー」(2月10日～15日)、と主催事業の「大佛次郎×ねこ写真展2018」(2月20日～4月8日)で会議室を連続利用し、多数の来場がありました。 |
| <p>③ リピート利用に向けた方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 ・会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善。 ・ホームページでの情報提供。 | <ul style="list-style-type: none"> ■附帯設備の充実を検討します。 ■改善を実施し、実績をホームページやSNSを通じて発信します。 ■昨年度ホームページに開設した「和室・会議室空き状況」ページを円滑に運営します。 | <ul style="list-style-type: none"> ■30年6月からの貸出開始にむけ、茶道具やプロジェクターを中心とした附帯設備の品目を増やすための準備を進めました。 ■ウッドデッキや附帯設備の品目増加などの改善実績を、ホームページやブログで紹介しました。 ■「和室・会議室空き状況」ページは、空き状況が確認できるようにホームページの随時更新を行いました。 |

| | | |
|---|---|--|
| <p>④ ティールーム「霧笛」との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 ・記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 | <p>■チケット半券ーレシートの提示による相互割引を継続します。また団体客や貸館利用者へティールームの利用を呼びかけます。</p> | <p>■相互割引を謳う割引クーポンを継続し、相互割引を実施しました。無料デーのイベントでは、霧笛からの協賛をいただき、記念館では霧笛の紹介を行うことで、利用促進のため相互に協力しました。</p> <p>■フランスをイメージしたトリコロールカラーのかき氷「大佛フラッペ」を継続販売しました。</p> |
|---|---|--|

オ 市民協働及び地域とのネットワーク構築

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容と達成状況] |
|--|---|---|
| <p>① 近隣教育機関との連携</p> <p>●大佛次郎生誕 120 年 記念「大佛次郎記念館のオープンデー」(再掲)</p> <p>② 近隣施設等との連携</p> <p>●横浜山手芸術祭への参加 横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、親子の来館を促進します。</p> <p>・内容</p> | <p>■近隣小学校等とは、チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を築くとともに、小学生ミニ・ビブリオバトル等の子ども対象事業を行う場合には、挨拶まわりを行い、参加を呼びかけます。</p> <p>■横浜山手西洋館ユースギャラリーの実施：年 1 回</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■デモ・ビブリオバトルと称し、記念館職員が北方小学校の授業に出向き、3 学年の子どもたちに各 1 時間ずつ、ビブリオバトルのデモンストレーションを行いました。昨年度制作したビブリオバトルの紹介ビデオ映像なども使い、子どもたちにビブリオバトルの魅力を伝えました。また、北方小学校内のビブリオバトル決勝戦が記念館サロンを会場にして開催されました。</p> <p>□チラシ配布協力 中区近隣小学校 3 校</p> <p>■大佛次郎生誕 120 年・中区制 90 周年記念大佛次郎記念館のオープンデー(再掲) 9 月 2 日(土)、来館者数：1,110 名</p> <p>■横浜山手西洋館ユースギャラリー 会期：2 月 10 日～15 日(6 日間) 紙工作、粘土、絵画など、小学生の作品を会議室で展示し、昨年度を上回る 325 人の観覧者がありました。</p> |

| | | |
|--|---|---|
| <p>市立北方小学校児童作品を会議室に展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 29年2月(約10日間) <p>●山手西洋館(横浜市緑の協会)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山手西洋館ハロウィンウォーク <p>・山手通信への情報掲載</p> <p>●県立神奈川近代文学館との連携</p> <p>③ 近隣商店街等との連携</p> <p>元町商店街(元町SS会)、横浜高速鉄道(株)、ホテルニューグランド等と連携します。</p> | <p>■ハロウィンウォークは、大佛次郎記念館に日頃馴染みのない層への周知機会ととらえて参加します。</p> <p>■大佛次郎生誕120年を記念して、関連展示を近代文学館内にも実施していただけるよう働きかけます。また、当館と共催で、120年記念講演会を年に2回開催します。このほか、観覧者の相互割引を継続します。</p> <p>■近隣商店街等とのつながりを大切にし、関係性を深めます。</p> <p>■ポスターの掲示を依頼し、当館においてもポスター掲示もしくは無料配布物等へのクーポンの提供等で協力関係を維持します。</p> | <p>■山手西洋館ハロウィンウォーク 10月31日、190名参加 今年で2度目の参加でしたが、大雨警報が出て13時で中止となり、参加者は190名にとどまりました。ハロウィンに合わせた飾りつけを行ったほか、1階ホールでは外れなしの抽選会の実施、2階サロンでは特設のフォトスポットを設ける等し、来場者には記念館をじっくりとご覧いただく機会となりました。</p> <p>■山手通信への情報掲載</p> <p>■29年度も継続実施し、双方の館を訪れていただけるようご案内に努めました。</p> <p>■県立神奈川近代文学館と共催し、生誕120年記念講演会を2回実施しました。 6月18日(日)講師：鹿島茂(フランス文学)、10月9日(月・祝)講師：辻原登(作家、県立神奈川近代文学館館長)(再掲)</p> <p>■ホテルニューグランド、ポンパドウルの2社に加え、新たに元町霧笛楼より「大佛次郎×ねこ写真展2018」の人気投票の賞品提供の協賛をいただきました。</p> <p>■横浜高速鉄道(株)に最寄駅である「元町・中華街駅」でのポスター掲示の協力をいただきました。</p> |
|--|---|---|

| | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ポンパドウルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売継続を働きかけます。 ・ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。 | | <ul style="list-style-type: none"> ■ポンパドウルでは、今冬季も記念館活性化プロジェクトから生まれた「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売をしていただきました。 ■テーマ展示Ⅰでは、ホテルニューグランドはじめ、元町や中区内の企業に協力を要請し、協力関係を深めました。 ■ホテルニューグランドの「天狗の間宿泊プラン」は継続販売をいただきました。 |
| <p>④ 研究者団体等の文化活動への場の提供</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定の見直しを検討します。 | <ul style="list-style-type: none"> ■大佛次郎研究会との覚書を基として、協力関係を継続しました。 ■フランス経済史研究会とはコンタクトをとり、協力関係を継続しました。 |
| <p>⑤ 財団他施設との連携施設間連携として、横浜美術館等での販売、広報、企画連携を検討します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■横浜美術館カフェ小倉山において、大佛次郎生誕120周年の記念連携展示として、「大佛次郎のモダンライフ」と題するパネル展示を行い、商品販売等の連携を目指します。 29年3月25日(土)～6月25日(日)予定 ■岩間市民プラザにおいて、大佛次郎生誕120周年の記念連携公演として、大佛次郎作品の朗読公演を取り上げます。 29年5月27日(土) | <ul style="list-style-type: none"> ■横浜美術館との共催 パネル展示「大佛次郎のモダンライフ」 来場者：9,003名 テーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」関連事業として、横浜美術館内カフェにて写真パネルの展示を3月25日から6月25日まで実施しました。 ■大佛次郎生誕120年記念連携公演 「高橋長英 朗読と音の調べ 大佛次郎生誕120年記念」岩間市民プラザ 5月27日(土)①11:00-②14:00- 来場者：232名 俳優の高橋長英ほかが大佛次郎作品「時雨の蝶」「離合」を朗読しました。 |
| <p>⑥市民協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NPO法人横浜シテ | <ul style="list-style-type: none"> ■昨年度協議に基づき、ガ | <ul style="list-style-type: none"> ■ガイドに対するレクチャーは、先方事情 |

| | | |
|---|---|--|
| <p>ィガイド協会との連携</p> <p>●記念館ボランティア 展示作業、イベント開催のお手伝いをいただきます</p> | <p>イドに対するレクチャーを開催。記念館へのツアーを促進します。</p> <p>■ボランティアメンバーの 拡充をはかります。</p> | <p>で実現が難しいと回答がありました。 (未達)</p> <p>■昨年度に引き続き、メーリングリストの 充実を図りました。</p> |
|---|---|--|

カ 広報・プロモーション活動等の推進

| | | |
|---|--|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>●従来からの広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続します。またSNS等を活用したプロモーション活動を行います。</p> <p>●大佛次郎及び記念館紹介ビデオの放映</p> <p>●ホームページの更新をタイムリーに行います。</p> | <p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> 3か月スケジュールの発行：年4回</p> <p>■開館40周年(30年度)年間スケジュールの発行：年度末</p> <p>■昨年度作成した紹介ビデオを、エントランスにおいて放映し、入館者増につなげます。</p> <p>■昨年度開設した和室、会議室の利用状況・空き状況を円滑に運営。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ情報更新 月3回以上</p> <p><input type="checkbox"/> ブログ情報更新</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> 年5回発行 予定を上回る発行回数となりました。3ヶ月スケジュール4回とオープンデー及びねこ写真展2018(29年度事業)1回です。</p> <p>■年間スケジュールの発行(1回)</p> <p><input type="checkbox"/> 広報露出件数：693件</p> <p>■日本語・英語の2か国語で放映しました。1回の上映時間が分かるように、上映時間の表示を加えました。</p> <p>■横浜美術館内のカフェで、6月25日まで写真パネル展示「大佛次郎のモダンライフ」の開催の際に会場で放映を行い、施設周知に努めました。</p> <p>■5月27日開催の大佛次郎生誕120年記念連携公演「高橋長英 朗読と音の調べ 大佛次郎生誕120年記念」公演時に、岩間市民プラザロビーで放映を行い、施設周知に努めました。</p> <p>■「和室・会議室空き状況」は、予約申込と同日にホームページ更新ができました。(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ更新 年55回(月平均4.6回)</p> <p><input type="checkbox"/> ブログ情報更新 年77回(月平均6.4回)</p> |
|---|--|---|

| | | |
|---|---|--|
| <p>●アプリの開発の検討</p> <p>●CATVでの情報発信 CATV局やその他TV局と連携して、企画展等の情報を発信します。</p> | <p>月5回以上</p> <p>□Twitter更新 週1回以上</p> <p>□大佛次郎記念館アプリ開発について情報収集</p> <p>□CATV等TV局からの情報発信：年3回以上</p> | <p>□Twitter更新 年163回(月平均13.6回)(再掲)</p> <p>□アプリ開発と比較し、より迅速に実現可能な方法として、来館者自身がQRコードを読み込みYouTubeの展示音声ガイドページにアクセスする仕組みをテーマ展示Ⅲの中で試行しました。(再掲)</p> <p>□FM放送局での生放送での情報発信のほか、テーマ展ごとにCATVでの情報発信がなされました。 テレビ年12回、ラジオ年6回</p> |
|---|---|--|

キ 後世に継承するための記念館の活性化

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容と達成状況] |
|---|--|--|
| <p>①大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備</p> <p>○大佛次郎記念館監修「500匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫」販売協力</p> <p>●その他</p> | <p>■小学館刊行の「500匹と暮らした文豪 大佛次郎と猫」販売協力を行い、普及に努めます。この本は、生誕120年テーマ展示Ⅱの図録として活用をはかり、販売にも繋がります。</p> <p>■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。また所蔵資料を活用した出版も併せて働きかけます</p> <p>■電子本配信の検討を行います。</p> <p>■その他</p> | <p>■昨年度刊行の小学館『大佛次郎と猫』をテーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」の公式カタログとして活用・販売しました。(再掲)</p> <p>■出版社への復刊の働きかけは続けつつも、刊行が困難な状況のため、選書の活用等の出版以外の方法も模索しています。</p> <p>■電子本配信は実現までに出版社との調整等の課題が多いため、記念館の予算で実現可能な方法を模索しました。</p> <p>■横浜市中心図書館と連携し、大佛作品の</p> |

| | | |
|---|---|---|
| <p>② フランス関連資料の活用</p> | <p>■テーマ展示Ⅰ～Ⅲで展示活用します。 ※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p> <p>■その他</p> | <p>ブックリストを作成し、双方での配布と情報公開をしました。</p> <p>■テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の戦後ニッポン—未来を信じるチカラ」と連動し、継承事業の一環として、雑誌「学生」に大佛次郎が掲載したエッセイ「鎌倉通信」から6編を選定し、1月末から、ミニ冊子を作成して販売を開始しました。</p> <p>■テーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」では大佛次郎がフランスから取り寄せた雑誌や書籍類などを展示し、テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」に合わせた収蔵品展示では、所蔵品から猫に関する洋書25点を紹介しました。</p> <p>■栃木県那須郡的那珂川町馬頭広重美術館に、ポール・ルヌアール作品4点を貸出しました。</p> |
| <p>③ 若者の来館促進(スタンプラリー協力等)</p> <p>○スタンプラリー等参加</p> | <p>■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。 (28年度実施例:文豪ストレイドッグス、ミュージアムクイズラリー)</p> | <p>■ミュージアム・ミッション2017 会期:7月22日(土)～8月31日(木) 当館受付での参加を呼びかける積極的な紹介により、期間中の参加者数は累計414名となりました。(再掲)</p> |
| <p>○街コン開催</p> | <p>■街コンジャパン主催、財団協力の「横浜アートで街コン」に協力し、若い世代の来館を促します。 目標:年1回以上</p> | <p>■主催である街コンジャパンが「街コン」事業を縮小させたことを受け、開催はありませんでした。(未達)</p> |
| <p>④ 「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承</p> | <p>■昨年度作成したワークシート「ねこからの挑戦状」を積極的に活用し、参加</p> | <p>■「ねこからの挑戦状」をテーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」及びテーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」の</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。</p> | <p>者を増やします。</p> | <p>期間に受付で配布し、以降は配架としました。</p> <p>■いかにして大佛作品を手にとって読んで頂くか、という課題を取り上げ、テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の戦後ニッポン—未来を信じるチカラ」と連動し、継承事業として、雑誌「学生」に大佛次郎が掲載していたエッセイ「鎌倉通信」から6編を選定し、1月からは、ミニ冊子を作成して販売を開始しました。(再掲)</p> |
| <p>⑤ 子どもたちが記念館に集う取組</p> | <p>■昨年度から実施された、小中学生入館料無料化と、親子の来館を促進する企画により入館者増を図ります。</p> <p>※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p> | <p>■小中学生入館料無料を継続したほか、親子の来館を促進する取組として子どもアドベンチャー等を実施しました。目標800名に対し、小中学生の観覧者数は995名となりました。</p> |
| <p>⑥ 大佛次郎生誕120年記念「大佛次郎120歳誕生日」</p> | <p>□入館者目標数：100人</p> <p>■無料入館デーとし、来館者の皆さんで誕生日をお祝いします。</p> <p>開催予定日：10月9日</p> <p>■中区制90周年連携事業</p> | <p>□来館者数：1,793名</p> <p>■「大佛次郎の誕生日を祝おう」というテーマで入館無料デーを設定しました。10月9日のオープンデー1日の入場者数は年間の最高人数となりました。来館者には、福引や展示解説が好評でした。</p> <p>■大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念大佛次郎120回目の誕生日 10月9日(月・祝)</p> |
| <p>⑦ スタッフの展示案内によるリピーターの確保</p> | <p>□団体入館者に対する解説：年40回以上</p> | <p>□団体入館者に対する解説：年35回 団体客のニーズに合わせ、時間や内容に変化をつけて解説しましたが、回数は未達となりました。(未達)</p> |
| <p>⑧ 愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開</p> | <p>■「大佛次郎×ねこ写真展2018」の実施、及び恒例化</p> | <p>■大佛次郎×ねこ写真展2018 会期：2月20日(火)～4月8日(日)</p> <p>□来館者数：2,764人(3月31日までの人数。4月8日までの会期全体では3,597人)</p> |

| | | |
|---|---|---|
| <p>⑨ 収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会(会員構成：メディア・有識者等・市等)の意見、年次評価等を活用したPDCAサイクルの構築</p> <p>●文学懇話会の開催 メディア、市、有識者から意見を聞く懇話会を年2回開催し、今後の運営や事業に反映させます。</p> | <p>□文学懇話会の開催： 年2回 開催予定日：6月23日(金)、12月1日(金)</p> | <p>■昨年度と同様に、会議室では大佛次郎の文章と猫の写真のコラボレーションコーナーや大佛次郎の飼ったシャム猫の写真、猫を撮影した公募写真を展示しました。また、新たに2階サロンに猫ポップを設置し、大佛次郎と猫たちの姿を再現し、いっしょに写真を撮影できるフォトスポットとしました。</p> <p>公募写真展は、応募可能点数を1名につき3枚までに制限したことから、応募作品数は555点と昨年度より少ないものの、応募者は昨年度より50名以上多い210名となりました。</p> <p>和室では施設利用のない日にねこポップを展示、会場の一体感を演出しました。(再掲)</p> <p>■財団の個別事業評価システムを利用することで、事業計画段階から結果報告まで、事業毎の収支の執行管理を適切に行いました。</p> <p>□文学懇話会：年2回 6月23日(金)、12月1日(金)</p> <p>■展示方法のアドバイスのほか、メディアへの露出や、SNSの活用といった、新たな試みについての意見交換が行われました。</p> |
|---|---|---|

(2)施設運営について

ア 観覧及び市民・市民団体の教養活動のための施設の提供

| | | |
|-----------------------------|---|---------------------------------------|
| <p>[取組内容] ① 観覧施設の提供</p> | <p>[達成指標] □開館について 開館日数 300日</p> | <p>[実施内容と達成状況] □予定通り開館いたしました。</p> |
|-----------------------------|---|---------------------------------------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|--|---|--|----------------|-------------|----|--------|--------|-----|--------|--------|---|
| <p>② 和室及び会議室の積極的な貸出、レファレンス対応</p> | <table border="1" data-bbox="451 203 951 394"> <tr> <td data-bbox="451 203 608 394">営業時間</td> <td data-bbox="608 203 951 394">(4～9月)10時～17時30分 (最終入館17時) (10～3月)10時～17時 (最終入館16時30分)</td> </tr> </table> <p data-bbox="451 450 868 483">□利用料金について(平日利用料)</p> <table border="1" data-bbox="451 495 948 685"> <tr> <td data-bbox="451 495 568 589"></td> <td data-bbox="568 495 759 589">10時～ 12時30分</td> <td data-bbox="759 495 948 589">13時～ 17時</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 589 568 636">和室</td> <td data-bbox="568 589 759 636">5,000円</td> <td data-bbox="759 589 948 636">8,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 636 568 685">会議室</td> <td data-bbox="568 636 759 685">2,500円</td> <td data-bbox="759 636 948 685">4,000円</td> </tr> </table> <p data-bbox="451 741 916 775">□レファレンスサービス：年間40件</p> <p data-bbox="451 981 868 1059">□目標利用率 和室 25%(日) 会議室 29%(日)</p> <p data-bbox="451 1317 675 1350">□入館料について</p> <p data-bbox="475 1361 780 1491">大人(高校生以上)200円 (団体料金150円) 小中学生 無料</p> | 営業時間 | (4～9月)10時～17時30分 (最終入館17時) (10～3月)10時～17時 (最終入館16時30分) | | 10時～ 12時30分 | 13時～ 17時 | 和室 | 5,000円 | 8,000円 | 会議室 | 2,500円 | 4,000円 | <p data-bbox="981 450 1118 483">□予定通り</p> <p data-bbox="981 734 1313 813">□レファレンスサービス： 年間62件 海外からの来館者を含め、学界など幅広い層からの質問に答え、情報の発信に努めました。(再掲)</p> <p data-bbox="981 976 1430 1290">□和室24.3% 会議室40.7% 昨年度と異なり、一般利用の機会を広げるため、和室の貸出をねこ写真展の開催期間に可能としたこともあり、利用率が未達となりました。(未達)</p> |
| 営業時間 | (4～9月)10時～17時30分 (最終入館17時) (10～3月)10時～17時 (最終入館16時30分) | | | | | | | | | | | | |
| | 10時～ 12時30分 | 13時～ 17時 | | | | | | | | | | | |
| 和室 | 5,000円 | 8,000円 | | | | | | | | | | | |
| 会議室 | 2,500円 | 4,000円 | | | | | | | | | | | |
| <p>③来館者数の増</p> | <p data-bbox="451 1559 823 1827">□年間入館者目標：18,400人 一日の入館者目標：61人 (実績：25年度15,770人 26年度16,678人 27年度17,036人 28年度22,507人)</p> | <p data-bbox="981 1547 1355 1677">□年間入館者数：24,492人 (昨年度比1,985名増加) 一日平均の入館者数：82名</p> | | | | | | | | | | | |

イ 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容と達成状況] |
|-------------------------------|--|--|
| ●施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内強化による利用促進 | ■メルマガでの案内実施開始：利用者に用途を開示した上でメールアドレスの取得を継続しながら配信スタート | ■大佛次郎賞受賞記念講演会を始め、館内イベントや、ねこ写真展期間中にメルマガ募集キャンペーンを実施し、会員を募りました。また、ホームページからメルマガに登録できるシステムが稼働しました。 |
| ●アンケート等による利用者ニーズの把握 | ■来場者に対するアンケートを実施します。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。 | ■前月の来場者アンケートを翌月の月始に集計し、職員間で情報共有しました。また、横浜市とのモニタリング時にも活用しました。施設運営上の課題については、すみやかに職員・財団・横浜市と情報共有しました。 |
| ●案内・説明表示の外国語表記対応 | ■改善事例については、ホームページ、SNS等で情報発信します。 | ■和室利用者から要望のあった、和室の上がり口のステップ（踏み台）について、3月に設置し、30年4月の情報発信を予定し進めました。 |
| ●案内・説明表示の外国語表記対応 | ■案内パンフレットの英語版作成：外国からの入館者に積極的に配布します | ■30年度から配布予定の新規リーフレットに掲載する地図を、英語併記する準備を進めました。 |
| ●展示解説や団体向け解説を実施します。（再掲） | ■1階ロビー展示部分の英語併記 | ■1階ロビー展示部分のキャプションや説明文に関する英語併記。（5月に実施） |
| ●展示解説や団体向け解説を実施します。（再掲） | □団体入館者に対する解説年40回以上(再掲) | □35回の実施(再掲)(未達) |
| ●展示解説や団体向け解説を実施します。（再掲） | ■解説時に、対話によりお客様のニーズを把握します。 | ■お客様の興味の対象を探りながらその部分は詳しく説明するなど、良いコミュニケーションを取りながら、充実した内容の解説を行いました。 |
| ●施設の魅力を向上させるため、調度品類を修繕・更新します。 | ■随時実施 | ■コインロッカーの料金(リターン式)を、500円から100円に変更し、利用者の利便性が向上しました。 |
| ●ショップ事業 大佛次郎記念館オリ | □新規グッズ開発：1アイテム以上 | □グッズの売上の傾向をふまえ、ねこ柄のハンカチの種類を増やしました。また、 |

| | | |
|---|--|--|
| <p>ジナルグッズを展開し、団体客等に積極的に販促します。</p> <p>図書の販売を継続します。</p> | <p>■小学館より刊行の「大佛次郎と猫」の販売メリットを享受するため積極的に宣伝します。</p> <p>■大佛次郎の個人文学館として、現在では一般の書店で手に入りにくい図書類を販売します。</p> | <p>港の見える丘公園でも開催された横浜市の緑化フェアに合わせて植物柄のハンカチを増やし、ショップの増収につなげました。suicaによる入館料支払システムが稼働しました。</p> <p>■テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」の会期には、展示会場のほかに閲覧室やサロンにも「大佛次郎と猫」を備え置きし、手に取ってご覧いただいた上で購入を促進する仕組み作りをしました。</p> <p>■鞍馬天狗購入キャンペーンの実施、大佛次郎作品の紹介カタログの常設などを行い、大佛次郎作品の購買促進を行いました。</p> |
|---|--|--|

ウ 組織的な施設運営

| <p>[取組内容]</p> <p>① 適切な運営組織体制と人材の配置</p> <p>最少人数での最大効果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。</p> <p>② 文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員の能力向上のため、研修を実施。</p> | <p>[達成指標]</p> <p>□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="491 1115 912 1464"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>3人</td> <td>事務室1、研究室2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>事務室1、研究室1</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受付窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p>□館内会議の実施</p> <p>研究室会議：月1回</p> <p>合同会議：月1回</p> <p>企画会議：月1回</p> <p>■業務として必要な専門知識向上や資格取得のため、費用対効果も見極めながら、積極的な受講・取得を推進します。</p> | 項目 | 人数 | 備考 | 館長 | 1人 | | 副館長 | - | | 職員 | 3人 | 事務室1、研究室2 | アルバイト | 2人 | 事務室1、研究室1 | 業務委託 | 2人 | 月4回 | カルチャースタッフ | 4人 | 受付窓口 | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□ミニマムな人員体制の中、万全なシフトを組めるよう調整し着実な運営体制を保ちました。</p> <table border="1" data-bbox="970 1115 1407 1464"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>3人</td> <td>事務室1、研究室2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>事務室1、研究室1</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回(うち1名は8月まで)</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受付窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p>□館内会議を予定通り行いました。各事業の方向性の決定や、中長期の計画の立案、施設運営における問題点の洗い出しなどの解決の場となりました。</p> <p>■業務を行う上で有用な研修を優先的に受講しました。</p> <p>・ACY主催若手コーディネーター養成講座、ホスピタリティ研修、スマ</p> | 項目 | 人数 | 備考 | 館長 | 1人 | | 副館長 | - | | 職員 | 3人 | 事務室1、研究室2 | アルバイト | 2人 | 事務室1、研究室1 | 業務委託 | 2人 | 月4回(うち1名は8月まで) | カルチャースタッフ | 4人 | 受付窓口 |
|---|---|----------------|----|----|----|----|--|-----|---|--|----|----|-----------|-------|----|-----------|------|----|-----|-----------|----|------|--|----|----|----|----|----|--|-----|---|--|----|----|-----------|-------|----|-----------|------|----|----------------|-----------|----|------|
| 項目 | 人数 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 館長 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副館長 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員 | 3人 | 事務室1、研究室2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルバイト | 2人 | 事務室1、研究室1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務委託 | 2人 | 月4回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カルチャースタッフ | 4人 | 受付窓口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 人数 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 館長 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副館長 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員 | 3人 | 事務室1、研究室2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルバイト | 2人 | 事務室1、研究室1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務委託 | 2人 | 月4回(うち1名は8月まで) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カルチャースタッフ | 4人 | 受付窓口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|---|--|---|
| <p>・事務室、研究室共通業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。</p> | <p>例)文化財 I P Mコーディネーター等</p> <p>■研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。</p> <p>■全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。</p> | <p>ホ活用セミナー、ダイレクトマーケティング研修、文化的・学術的資料の保存シンポジウム「本の分析学②本の革」、実務者研修報告会</p> <p>■28年度から継続して、高い専門能力を有する職員を2名配置しました。外部の専門員、特任研究員の助言により、さらに能力向上に努めました。</p> <p>■業務上の都合で29年度は参加を見合わせました。(未達)</p> |
|---|--|---|

エ 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

| | | |
|---|---|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>●個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企優先発注等の取組の実施</p> | <p>[達成指標]</p> <p>□個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■業務計画書、報告書のホームページでの公開：実施 PDFのダウンロードを可能とします。</p> <p>□市内中小企業への発注：全契約の9割以上(件数、金額)</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□複数のコンプライアンス研修により危機意識をもって業務を遂行しました。個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■28年度報告書をホームページに掲載しました。</p> <p>□市内中小企業への発注金額 全契約金額の9割以上を達成しました。</p> |
|---|---|---|

(3)施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

| | | |
|--|---|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施</p> <p>●保守点検、備品管理、</p> | <p>達成指標]</p> <p>□施設運営に支障がでないように管理します。</p> <p>□館建設から38年経過し、建物、設備に劣化が進んでいるので、必要な修繕を実施するように調整します。</p> <p>□必要に応じ市と協議を行います。</p> <p>□不具合早期発見のため自主</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□館内環境に支障が出ないように、優先順位をつけ効率的に小破修繕を行いました。今後も長期的な視点を持って管理します。</p> <p>□長寿命化のための工事については、市と協議し、調整を行いました。</p> <p>□月1回</p> |
|--|---|---|

| | | |
|--|--|--|
| <p>環境維持の実施</p> <p>●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整</p> | <p>点検を実施します。月1回</p> <p>■自主点検した内容を財団事務局と情報を共有します。</p> | <p>毎月実施しました。</p> <p>■財団事務局と情報共有を密に行いました。</p> <p>□必要に応じて連絡調整をしました。ウェディング撮影について、公園管理者と情報共有できる仕組みを検討しました。</p> |
|--|--|--|

イ 小破修繕の着実な実行

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>●小破修繕の取組</p> | <p>[達成指標]</p> <p>■随時実施</p> <p>□不具合早期発見のため自主点検を実施します。月1回(再掲)</p> <p>■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有するとともに、実績をホームページ、SNS等を通じ積極的に情報発信します。</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■随時実施</p> <p>トイレ部品交換、雨漏り修繕(2階ステンドグラス付近)、館内照明のLED化工事、高圧ケーブル交換などの修繕を実施しました。必要な場合は横浜市と連携し、修繕を行いました。</p> <p>□自主点検 月1回実施</p> <p>■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有を行いました。また、会議室のウッドデッキの活用例や、和室及び会議室の付帯設備の品目増について、ホームページやブログ、SNSを通じ情報発信しました。</p> |
|-------------------------------|---|--|

ウ 事故予防及び緊急時の対応

| | | |
|--|--|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>●事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施</p> | <p>[達成指標]</p> <p>□施設運営に支障がでないように管理します。</p> <p>□館内巡回 1日2回</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■適切な管理を行いました。盗難防止のために、郵便ポストを休館日に南京錠で施錠するようにしました。</p> <p>□館内巡回 1日2回実施</p> |
|--|--|--|

エ 防災に対する取組

| | | |
|---|--------------------------------|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>●日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実</p> | <p>[達成指標]</p> <p>□防災訓練 年2回</p> | <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□年2回(11月27日、2月26日)</p> <p>11月は中消防署北方消防出張所長の指導のもとに防災訓練を実施し、2月は職員のみ自主訓練を実施しました。事前の</p> |
|---|--------------------------------|--|

| | | |
|---|--|---------------------------------|
| 施 | | 説明をせずに実施する、マニュアルに頼らない訓練を行ないました。 |
|---|--|---------------------------------|

5 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

| | | |
|----------------------------|--|--|
| [取組内容] ●適切な収支構造及び収支バランス | [達成指標] ■優先順位を見極め、緊急度の高いもの、必要性の高いものから執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。 | [実施内容と達成状況] ■適切に予算管理を行い執行しました。超勤については、毎月の勤務実績を基に、勤怠管理により業務効率化の意識づけを行いました。 |
|----------------------------|--|--|

イ 指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| [取組内容] ●指定管理料のみに依存しない収入確保の取組 | [達成指標] ■有料入館者を増やすため、観光客、団体客を増やします □ショップ売上目標： 1,500,000円 | [実施内容と達成状況] ■テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」と、ねこ写真展という猫を取り上げた事業により観光客の来場が増え、入場料収入の大幅増につながりました。 □ショップ年間売上： 2,924,357円 |
|---------------------------------|--|---|

ウ 経費削減及び効率的運営努力

| | | |
|---|---------------------------------|--|
| [取組内容] ●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。 | [達成指標] □電気・水道使用量 前年度比マイナス | [実施内容と達成状況] □電気 28年度比+1.9%、水道同+16.6% 水道利用量は入館者のトイレ利用によるところが大きく、来館者増に伴い前年度より大幅に水道料金が増加しました。 (未達) |
|---|---------------------------------|--|

6 PDCAサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| [取組内容] ●日報、月間事業報告書の作成と管理 | [達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。 | [実施内容と達成状況] ■適切に対応しました。 |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

| | | |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| [取組内容] ●業務計画書、業務報告書の作成と管理 | [達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。 | [実施内容と達成状況] ■適切に対応しました。 |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|

ウー1 業務評価(モニタリングの実施)について

| | | |
|-----------------------------|------------------------------|---|
| [取組内容] ●モニタリングの実施による業務評価 | [達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。 | [実施内容と達成状況] ■横浜市との情報共有の場としても活用しつつ、適切に対応しました。 |
|-----------------------------|------------------------------|---|

ウー2 業務評価(自己評価の実施)について

| | | |
|---------------------------|------------------------------|----------------------------|
| [取組内容] ●自己評価の実施による業務評価 | [達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。 | [実施内容と達成状況] ■適切に対応しました。 |
|---------------------------|------------------------------|----------------------------|

ウー3 業務評価(第三者による評価の実施)について

| | | |
|---|--|---------------------------------|
| [取組内容] ●第三者評価の実施による業務評価 ※該当年度のみ対象 | [達成指標] ■29年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。 | [実施内容と達成状況] ■視察対応(6月、10月、2月) |
|---|--|---------------------------------|

7 その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

| | | |
|---------------------------|---|--|
| [取組内容] ●保険の加入と損害賠償への対応 | [達成指標] ■業務の基準に則り、対人1億円の保険金額の施設賠償等保険に加入します。 | [実施内容と達成状況] ■適切に対応しました。 ■ショップ販売商品(傘)の事故の発生に備え、PL保険に加入しました。 |
|---------------------------|---|--|

イ 関係法令の順守

| | | |
|--------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| [取組内容] ●関係法令の遵守 | [達成指標] ■コンプライアンス事故ゼロの達成 | [実施内容と達成状況] ■コンプライアンス事故ゼロを達成しました。 |
|--------------------|----------------------------|--------------------------------------|

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

| | | |
|---------------------------|--|--|
| [取組内容] ●市及び関係機関等との連絡調整 | [達成指標] ■モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。 | [実施内容と達成状況] ■モニタリング時以外にも、市及び関係機関等と積極的に情報共有を行いました。 |
|---------------------------|--|--|

平成29年度 大佛次郎記念館 事業一覧

| No. | 実施時期 | 主催・共催・協力等 | 事業名 | 会場 | 事業内容 | 入場者・参加者数 見込み(人) | 実施回数 |
|-----|--------|-----------|--|------------------|--|--------------------|------|
| 1 | 通年 | 主催 | 作品収集活用 | - | 所蔵品(既存の所蔵物の他、新たな寄贈物、購入物などを含む)の収集・管理。レファレンス等。 | - | 1 |
| 2 | 通年 | 主催 | 収蔵資料の保存・補修 | - | 旧蔵品等の大切な資料を後世に残すために、補修等を行いました。 | - | 1 |
| 3 | 通年 | 主催 | 常設展(収蔵品展) | 2階展示室 | 「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた収蔵品展を実施しました。定期的な展示替え実施 | テーマ展示に含む | 1 |
| 4 | 通年 | 主催 | 愛蔵品展示 | 記念室内及び記念室前展示コーナー | 大佛次郎の交友関係に焦点をあて、関係する旧蔵資料等を展示しました。 | テーマ展示に含む | 1 |
| 5 | 通年 | 主催 | 所蔵品データベース化 | - | 大佛次郎記念館ホームページ上に掲載する、所蔵品オープンデータの追加 | - | 1 |
| 6 | 3月-7月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> テーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」 | 2階ギャラリー | テーマ展示Ⅰ「大佛次郎のヨコハマ・スピリット」 ・大佛次郎のライフスタイル(スポーツマンであること、音楽・舞台芸術・絵画・写真への愛好、グルメ等)に焦点を当てることで、その生活美学や人物としての魅力を紹介しました。 ・作品の舞台、また自らの生活の場でもあった「ヨコハマ」との関係性を紹介し、大佛が「ハマ」に寄せる愛情の具体像にせまりました。 | 8,015 | 1 |
| 7 | 7月-11月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」 | 2階ギャラリー | テーマ展示Ⅱ「大佛次郎と501匹の猫」 ・生涯500匹以上の猫を飼うなど、大佛次郎の作品や人生を語る上で欠かせない猫「優しい伴侶」に焦点をあてました。 | 10,617 | 1 |
| 8 | 11月-3月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年記念> テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の戦後ニッポン-未来を信じるチカラ」 | 2階ギャラリー | テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の戦後ニッポン-未来を信じるチカラ」 ・主筆をつとめた若者にむけた雑誌「学生」「天馬」を軸に、人々との交流や大佛の活動を紹介しました。(ex.東久邇内閣の内閣参与～ナショナルトラスト運動、「フランス山」や宅地開発についての横浜市への提言まで) | 4,139 | 1 |
| 9 | 6月 | 主催 | 「おさらぎ選書」第25集の刊行 | - | 大佛次郎研究論文、資料紹介、記念館活動記録などをまとめた「おさらぎ選書」第25集を発行しました。また、30年度の第26集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行いました。 | - | 1 |
| 10 | 6月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎生誕120年記念講演会(1) | 神奈川近代文学館 | 6月18日(日) 講師:鹿島茂(フランス文学) 神奈川近代文学館と共催実施 | 223 | 1 |
| 11 | 10月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎生誕120年記念講演会(2) | 神奈川近代文学館 | 10月9日(月・祝) 講師:辻原登(作家、神奈川近代文学館館長) 神奈川近代文学館と共催実施 | 159 | 1 |
| 12 | 5月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 横浜文学散歩 ～中区編～ | 中区界限 | 大佛次郎生誕120年記念で、生誕の地をはじめ、中区を重点的に回遊する計画でしたが、開催中止となりました。 | - | 未実施 |
| 13 | 4月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎賞受賞記念講演会(1) | 横浜市開港記念会館講堂 | 朝日新聞主催の大佛次郎賞受賞作家による講演会。朝日新聞社、中区役所共催 講演者:浅田次郎 受賞作:「帰郷」 | 409 | 1 |
| 14 | 3月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年記念> 大佛次郎賞受賞記念講演会(2) | 横浜市開港記念会館講堂 | 朝日新聞主催の大佛次郎賞受賞作家による講演会。朝日新聞社共催 講演者:高村薫 受賞作:「土の記」 | 428 | 1 |
| 15 | 5月-11月 | 共催 | 大佛次郎研究会 公開発表会 | 神奈川近代文学館 | 大佛次郎研究会に対し、年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援しました。 | 147 | 2 |
| 16 | 4月、12月 | 主催 | 和室公開 | 和室 | 年2回、桜(3/24～4/9)と紅葉(11/24～12/10)のシーズンに和室を公開。窓から眺める景色を来館者に楽しんでいただきました。 パネルにより収蔵品や大佛の俳句等を紹介 | 2,235 | 2 |
| 17 | 4月、10月 | 協力等 | 大佛茶亭公開 | 大佛茶亭(鎌倉) | 鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行いました。 | - | 2 |
| 18 | 11月 | 主催 | 小学生ミニ・ビブリオバトル | 2階サロン | 小学4～6年生を対象にした、本の紹介バトル。本を通じた子ども達同士の交流、地域との交流を目指しました。本好きだった大佛次郎のスピリットも伝えました。 | 36 | 1 |
| 19 | 8月 | 主催 | 夏休み子どもアドベンチャー | 館内 | 感想画展、館内クイズラリーなど、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画 | 52 | 1 |
| 20 | 8月 | 協力等 | ミュージアム・ミッション2017 | 館内 | 神奈川県博物館協会主催のミュージアム連携事業に参加。子どもの来館を促しました。 | 414 | 1 |
| 21 | 2月-3月 | 主催 | 大佛次郎×ねこ写真展2018 | 会議室、和室、閲覧室等 | 大佛次郎の愛した猫を切り口にした写真展。公募作品も多数展示。 | 3,597 | 1 |
| 22 | 通年 | 主催 | 大佛次郎に関する普及事業 | - | 1階の常設コーナーで大佛次郎の生涯を多言語で紹介しました。また、団体に対する説明を35回実施するなど大佛次郎に関する普及に努めました。 | - | 1 |
| 23 | 9月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 大佛次郎記念館のオープンデー | 全館 | 和英二か国語でのギャリートーク、和室での市内中学高等学校茶道部生徒さんによる茶道体験、「着物パズルドレス」(鹿鳴館風ドレス)の展示など、外国のお客様はじめ、気軽に入場無料でお入りいただけるオープンデー。 | - | 1 |
| 24 | 10月、2月 | 共催 | 山手西洋館連携事業 ①山手西洋館ハロウィンウォーク ②横浜山手芸術祭「西洋館ユースギャラリー」 | ①記念館敷地内 ②会議室 | 10月末の山手西洋館ハロウィンウォークに館として参加し、賑わいを創出しました。2月には横浜山手芸術祭に協力参加し、小学生の作品展示を実施しました。 | 515 | 2 |

| No. | 実施時期 | 主催・共催・協力等 | 事業名 | 会場 | 事業内容 | 入場者・参加者数 見込み(人) | 実施回数 |
|-----|-------|-----------|-------------------------------------|-----------------|--|--------------------|------|
| 25 | 3月-6月 | 共催 | 大佛次郎生誕120年記念連携展示 | 横浜美術館 カフェ小倉山 | 大佛次郎夫妻のファッションに関するパネル展示。当財団が運営する横浜美術館の企画展「ファッションとアート 麗しき東西交流」と連携。 | - | 1 |
| 26 | 5月 | 共催 | 大佛次郎生誕120年記念連携公演 高橋長英 朗読公演 | 岩間市民プラザ | 当財団が指定管理者共同事業体に参加している他施設との連携事業。大佛次郎作品の朗読公演。 | 232 | 2 |
| 27 | 通年 | 主催 | ホームページの充実・運用 | - | 施設についての魅力を伝えるツールとしてさらに充実させました。 | - | 1 |
| 28 | 通年 | 主催 | 「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」継承事業 | 全館 | 館内をより楽しく鑑賞できる補助ツールとしてのワークシートを活用しました。 | - | 1 |
| 29 | 通年 | 協力等 | アニメ、ドラマ、映画等と連携したスタンプラリー | 1階 | 各種コンテンツと連携した観光促進事業に協力し、新しい層の来館を促進しました。 | - | 未実施 |
| 30 | 10月 | 主催 | <大佛次郎生誕120年、中区制90周年記念> 生誕120年記念日 | 全館 | 横浜中区生まれの大佛次郎、120歳のバースデーを、入場無料デーとし、来館者とともにお祝いしました。 | 1,793 | 1 |

平成29年度 「大佛次郎記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|-------------|-------------------|------------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------------|
| 指定管理料 | 50,692,000 | | 50,692,000 | 50,692,000 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | 700,000 | | 700,000 | 764,932 | △ 64,932 | 施設利用料金 |
| 自主事業収入 | 2,746,000 | | 2,746,000 | 3,328,750 | △ 582,750 | 観覧料、事業収入、広告収入 |
| 雑入 | 2,720,000 | 0 | 2,720,000 | 4,633,072 | △ 1,913,072 | |
| コピー複写等 | 100,000 | | 100,000 | 638,915 | △ 538,915 | その他事業収入（事業負担金収入等を含む） |
| ティールーム設備料 | 1,070,000 | | 1,070,000 | 1,069,800 | 200 | ティールーム設備料 |
| その他（ショップ収入） | 1,550,000 | | 1,550,000 | 2,924,357 | △ 1,374,357 | ショップ売上 |
| 収入合計 | 56,858,000 | 0 | 56,858,000 | 59,418,754 | △ 2,560,754 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|---------------------------|-------------------|------------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------------------|
| 人件費 | 37,149,000 | 0 | 37,149,000 | 35,945,499 | 1,203,501 | |
| 給与・賃金 | 30,659,000 | | 30,659,000 | 29,736,858 | 922,142 | 収集活用業務委託含む |
| 社会保険料 | 4,026,000 | | 4,026,000 | 4,210,840 | △ 184,840 | |
| 通勤手当 | 1,072,000 | | 1,072,000 | 1,394,732 | △ 322,732 | |
| 健康診断費 | 56,000 | | 56,000 | 33,741 | 22,259 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 退職給付引当金繰入額 | 1,336,000 | | 1,336,000 | 569,328 | 766,672 | |
| 事務費 | 3,369,000 | 0 | 3,369,000 | 4,054,565 | △ 685,565 | |
| 旅費 | 90,000 | | 90,000 | 30,092 | 59,908 | |
| 消耗品費 | 800,000 | | 800,000 | 541,270 | 258,730 | |
| 会議賄い費 | 23,000 | | 23,000 | 39,457 | △ 16,457 | 雑費（その他）を含む |
| 印刷製本費 | 150,000 | | 150,000 | 659,753 | △ 509,753 | 広告宣伝費を含む |
| 通信費 | 380,000 | | 380,000 | 492,595 | △ 112,595 | |
| 使用料及び賃借料 | 1,159,000 | 0 | 1,159,000 | 1,130,810 | 28,190 | |
| 横浜市への支払分 | 1,009,000 | | 1,009,000 | 962,989 | 46,011 | 目的外使用料、大佛次郎賞会場費 |
| その他 | 150,000 | | 150,000 | 167,821 | △ 17,821 | |
| 備品購入費 | 150,000 | | 150,000 | 606,744 | △ 456,744 | |
| 図書購入費 | 150,000 | | 150,000 | 0 | 150,000 | 入札不調により購入見合わせ |
| 施設賠償責任保険 | 300,000 | | 300,000 | 292,820 | 7,180 | |
| 職員等研修費 | 0 | | 0 | 8,000 | △ 8,000 | |
| 振込手数料 | 80,000 | | 80,000 | 81,620 | △ 1,620 | |
| リース料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 手数料 | 50,000 | | 50,000 | 140,404 | △ 90,404 | |
| 地域協力費 | 37,000 | | 37,000 | 31,000 | 6,000 | |
| 事業費 | 3,670,000 | 0 | 3,670,000 | 5,407,242 | △ 1,737,242 | |
| 自主事業費 | 3,670,000 | | 3,670,000 | 5,407,242 | △ 1,737,242 | 事業費（事業に関する消耗品費含む）、ショップ仕入費等 |
| 管理費 | 7,254,000 | 0 | 7,254,000 | 7,352,584 | △ 98,584 | |
| 光熱水費 | 1,400,000 | 0 | 1,400,000 | 1,403,099 | △ 3,099 | |
| 電気料金 | 1,220,000 | | 1,220,000 | 1,152,133 | 67,867 | |
| ガス料金 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 水道料金 | 180,000 | | 180,000 | 250,966 | △ 70,966 | |
| 清掃費 | 2,100,000 | | 2,100,000 | 2,138,400 | △ 38,400 | |
| 修繕費 | 1,154,000 | | 1,154,000 | 911,520 | 242,480 | |
| 機械警備費 | 750,000 | | 750,000 | 741,312 | 8,688 | |
| 設備保全費 | 1,850,000 | 0 | 1,850,000 | 2,158,253 | △ 308,253 | |
| 空調衛生設備保守 | 420,000 | | 420,000 | 421,200 | △ 1,200 | |
| 消防設備保守 | 300,000 | | 300,000 | 294,840 | 5,160 | |
| 電気設備保守 | 150,000 | | 150,000 | 147,096 | 2,904 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 300,000 | | 300,000 | 291,600 | 8,400 | |
| 駐車場設備保全費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 680,000 | | 680,000 | 1,003,517 | △ 323,517 | |
| 共益費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 公租公課 | 2,550,000 | 0 | 2,550,000 | 2,833,900 | △ 283,900 | |
| 事業所税 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 消費税 | 2,550,000 | | 2,550,000 | 2,831,900 | △ 281,900 | |
| 印紙税 | 0 | | 0 | 2,000 | △ 2,000 | |
| その他（ ） | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務経費 （計算根拠を説明欄に記載） | 2,866,000 | 0 | 2,866,000 | 2,866,000 | 0 | |
| 本部分 | 2,866,000 | | 2,866,000 | 2,866,000 | 0 | |
| 当該施設分 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 56,858,000 | 0 | 56,858,000 | 58,459,790 | △ 1,601,790 | |
| 差引 | 0 | 0 | 0 | 958,964 | △ 958,964 | |